

特別支援学校における カリキュラム開発に関する研究

特別支援教育講座
准教授
一木 薫

キーワード

・特別支援学校 ・カリキュラム開発 ・教科指導 ・自立活動の指導 ・現職研修

研究シーズの説明 (私は、このような研究に取り組んでいます。)

私の主な研究内容は以下の通りです。

(1) 特別支援学校におけるカリキュラム開発

多様な子どもたちの教育を担う特別支援学校では、これまで、個々の実態に即した授業実践が追求されてきました。そして、インクルーシブ教育の推進が図られる現在、特別支援学校には、卒業時まで、何を(教育内容)、どれだけの時間をかけて指導し、その結果として、自校の子どもたちにどのような力を育むのか、学校としての教育計画の立案とそれを説明する力が問われています。そこで、どのような手続きとデータに基づき、この課題に取り組むとよいか、「特別支援学校が主体となるカリキュラム開発」をテーマに研究に取り組んでいます。

(2) 肢体不自由(重複障害を含む)のある子どもの障害特性をふまえた各教科の指導と学習評価

障害のある子どもの授業では、個々の実態に即した目標を設定し、障害ゆえの学びにくさを考慮した手だてを講じることが肝要となります。そこで、子どもの障害が各教科の学習に与える影響や有効な手だて、障害の重い子どもたちの各教科の指導における「学習到達度チェックリスト」(徳永, 2015)を活用した目標設定と学習評価に関する研究に取り組んでいます。

(3) 自立活動の指導を担当する教師の成長を支える現職研修

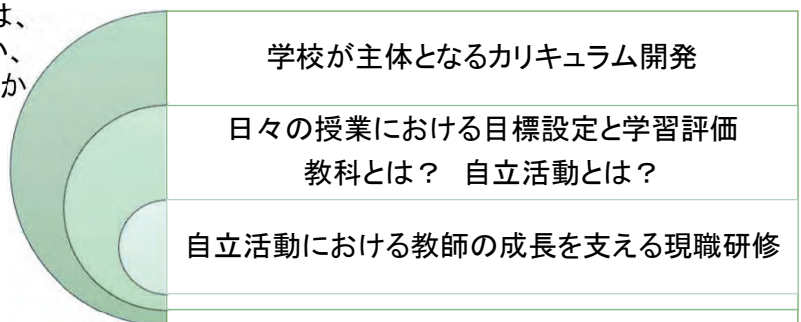
特別支援学校では、自立活動の指導が行われます。しかし、この自立活動の指導については、どのように指導目標を設定したらよいか、また、自らが設定した指導目標の不確実性に悩む先生も少なくありません。さらには、自らの指導に一定の手応えを覚えるまでに、教科指導以上の時間を必要とすることが指摘されています。そこで、自立活動の指導に関する現職研修(校内研修や教育センター研修等)のあり方について研究しています。

成果の応用可能性 (私の活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。)

私の研究成果は、特に、特別支援学校における各教科の授業実践や教育課程の改善、さらには、特別支援学校や教育センターで実施される自立活動に関する研修内容・方法の改善に貢献することができます。

実際に、いくつかの特別支援学校(肢体不自由)では、研究協力者の立場から、日々の授業研究や、教育課程改善の検討に必要なデータを入手するための研究、研究成果に基づく協議等に参画させていただいています。

障害が重度な子どもたちを対象とした授業では、教科と自立活動をどのように区別するとよいか、教科としての目標をどのように設定するとよいか等の難しさも出てきます。改めて、教科と自立活動の違いを整理しながら、また、先生方の自立活動の指導における悩みを解決する校内研修や指導組織体制等のあり方を検討しながら、「特別支援学校が主体となるカリキュラム開発」をサポートしています。



これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

【公開講座等】(平成27年度)

福岡県教育職員免許法認定講習(第1欄) / 北九州市教育職員免許法認定講習(第2欄)
沖縄県教育職員免許法認定講習(第1欄) / 広島県教育職員免許法認定講習(第3欄)

【講演・講義・研究会等】(平成27年度)

特別支援教育総合研究所第2期特別支援教育専門研修 / 障害のある子どもの学習評価と授業改善を考える研究会
長崎県肢体不自由教育研究協議会第21回研究大会 / 長崎県教育センター研究主任研修
広島県教育委員会教務主任研修 / 特別支援学校の校内研究会・研修会(九州・沖縄各県、広島県、東京都ほか)

【審議会委員会等】

中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会課程認定委員会委員 平成27年度
学習指導要領の改善のための調査研究協力者会議 調査研究協力者 平成20年度